



国民春闘共闘

第23号

2018年3月20日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第1回進ちよく状況調査

要求をはなさず回答引き上げにこだわろう

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は16日、加盟全単組を対象とした「第1回春闘進ちよく状況調査」を実施し、その集計を13単産（1910組合）からの報告としてまとめました。

1. 要求提出状況

3月16日現在、別表の13単産から、交渉単位数で1910組合の報告が寄せられました。このうち3月16日段階で要求書提出組合は、934組合（49.5%）となっています。なお、要求提出率100%の単産は、検数労連、郵政ユニオンとなっています。前年第1回調査時（2017年3月24日：1010組合・54.1%）とは比較すると、76組合・4.6%減となっていますが、これは調査時期が1週間早まったためと推測されます。

しかし、全体として、要求提出率が5割に達しておらず、後半戦での巻き返しが求められます。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の建設関連労連・JMITU・金融労連を除く）の36.6%にあたる689組合でストライキ権の確立が確認されています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、検数労連、郵政ユニオンとなっています。ついで、日本医労連（90.9%）が高率でスト権を確立しています。日本医労連は、昨年初回調査時の60.2%から、30.7%増と大幅にスト権確立組合を増やしています。

3. 回答引き出し状況

要求提出組合（934組合）の44.8%にあたる410組合で回答を引き出しています。全印総連で8割近い引き出し率となっているのをはじめ、生協労連、化学一般労連で6割以上の組合が回答を引き出しています。

前年第1回調査時（500組合・49.5%）と比較すると90組合、5.4%減となっています。

4. 回答内容

回答内容では、＜定昇制度のある＞交渉単位141組合で見ると、38.3%にあたる54組合が「定昇＋ベア」を獲得、約半数にあたる73組合が「定昇確保」となっています。一方で、14組合で「定昇凍結」などの回答となっています。

5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

回答額提示のあった 281 組合での単純平均（1 組合あたりの平均）賃上げ額は 5,246 円で、前年（5,192 円）を 54 円上回っています。賃上げ率は、189 組合平均で 2.08%で、前年同期（1.93%）を 0.15 ㊦上回っています。ベア相当額の単純平均は、939 円と前年同期（1,103 円）を 164 円下回っています。全体として厳しい回答内容となっています。

6. ストライキ実施状況

調査組合の 60 組合から、60 回のストライキの実施報告が寄せられています。また、今回は未集約となっていますが、映演労連・福祉保育労などでも 3・15 全国統一行動でストライキを行っています。

**安倍 9 条改憲・労働法制改悪 NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**